



目をつむる写真展 2025



—見えないもの/見えるもの—



“Eyes Closed” Photo Exhibition, 2025—What you can't/can see

2025.2.1 (土)–2.26 (水)

四条通地下道 Shijo-dori Street Underpass

主催：一般社団法人ヴァリアスコネクションズ

協力：京都市 | 阪急電鉄株式会社

助成：公益財団法人森村豊明会



目をつむる写真展2025—見えないもの/見えるもの

「目をつむる写真展」は、子どもの無防備な寝顔に心が揺さぶられたことをきっかけに撮影を開始し、2015年から京都・静岡・滋賀にてこれまで計5回開催しました。そして、共に目をつむった人たちは、年齢・性別・国籍・障害の有無を超え、約3000名にのぼります。

第6回目となる本展では、会場場の四条通地下道が位置する下京区を中心に、隣接する中京区と東山区で撮影した、あるいはワークショップ《目をつむるスタジオ》で参加者が撮影した「目をつむる」ポートレートを展示します。

目をつむると、普段見られない表情が浮かび上がります。その表情から、その人の新たな一面に気づくことができるでしょう。さらに、目をつむることは寛容を表すメタファーであり、祈りにも通じます。

本展が、目をつむることに思いを巡らせ、見えないものと見えるものを見つめ直す機会になることを願います。

企画:成実 憲一 | Kenichi Narumi

1971年京都市生まれ。1994年静岡大学教育学部卒業。他者や自己との関わりをテーマとした写真・絵画・インスタレーション作品を発表。2001年から京都市内で社会福祉をテーマとするギャラリーの開設やアートプロジェクトの企画にかかわる。2013年ヴァリアスコネクションズを設立し(2018年一般社団法人化)、アートと福祉が交差する事業を実施。2015年から「目をつむる写真展」を企画(2015-25)。2017年から「だれでもカメラ部」を主宰し、障害のある人たちの写真表現を支援。2023年第19回京都現代写真作家展優秀賞受賞。

2025.2.1 (土)—2.26 (水) 6:45—22:30

会場:四条通地下道11番から12番出入口間

観覧料:無料

【関連イベント】

■トーク&鑑賞ツアー

2月24日(月祝)13:30—15:00

会場:町屋カフェ「ジョイント・ほっと」

京都市下京区寺町通仏光寺下の恵美須之町534

定員:20名(先着順)

参加費:無料

申込:展覧会ページより申込み。

■同時開催の展覧会

目をつむる写真セレクト2014—2022

2月4日(火)—3月3日(月)11:30—19:00

土日休み | 祝日は11:30—14:30

会場:町屋カフェ「ジョイント・ほっと」

入場料:無料

詳細は展覧会ページでお知らせします。



展覧会ページ

■11番出入口:ホテルフォルツァ京都四条河原町東側から地下へ

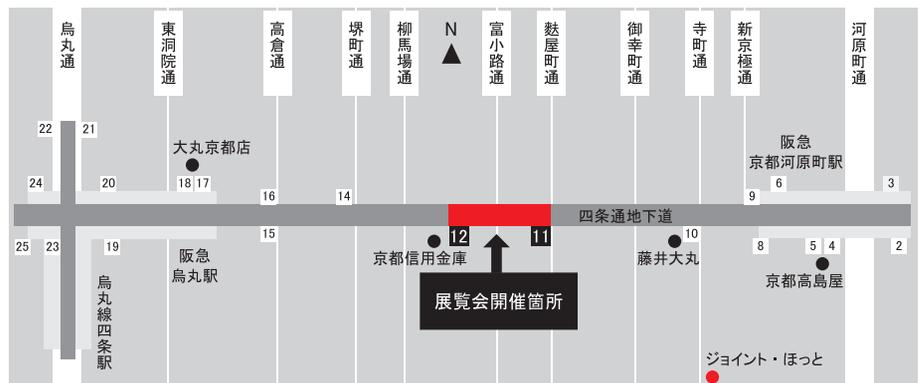
■12番出入口:スターバックスコーヒー京都信用金庫本店ビル店東側から地下へ



MAP:ホテルフォルツァ



MAP:スターバックスコーヒー



【交通案内】

阪急京都線「京都河原町駅」より西へ徒歩約3分

阪急京都線「烏丸駅」より東へ徒歩約5分

地下鉄烏丸線「四条駅」より東へ徒歩約7分

京阪本線「祇園四条駅」西へ徒歩約8分

【お問い合わせ】一般社団法人ヴァリアスコネクションズ

〒606-8411 京都市左京区浄土寺東田町67番地1 ジュンビル106

TEL. 075-741-8517 | FAX. 075-741-8748

MAIL. info@various-c.com | WEB. https://www.various-c.com/